25. スタニスラス・ンゼイマナ
Stanislas NZEYIMANA
（別名）デオグラティアス・ビガルカ・イザバヨ（Deogratias Bigaruka Izabayo）、ビガルカ（Bigaruka）、ビグルラ（Bigurura）、イザバヨ・デオ（Izabayo Deo）、ジュール・マテソ・ムランバ（Jules Mateso Mlamba）
（生年月日・出生地）1966年１月１日（推定1967年または1966年８月28日）、ルワンダ、ムグサ（ブタレ）(Mugusa （Butare))
（旅券、人定情報）ルワンダ国籍。ＦＤＬＲ－ＦＯＣＡの副司令官。2011年６月現在、北キブ州ムコベルワ（Mukoberwa）を拠点とする。
（指定の根拠）コンゴ民主共和国で活動している外国武装勢力の軍事的指導者として、国連安保理決議第1857号（2008年）４(b)の規定に違反し戦闘員の武装解除、自発的帰還及び再定住を妨害している。国連安保理コンゴ民主共和国制裁委員会専門家グループが収集し、2008年２月13日付けの報告書で詳細に記述されている証拠によれば、ＦＤＬＲ－ＦＯＣＡから奪回された少女らは、それまで誘拐され性的暴行を受けていた。2007年半ばから、それまで十代半ばから後半の少年らを徴兵していたＦＤＬＲ－ＦＯＣＡは、10歳以上の少年少女を強制的に徴兵してきた。少年少女らのうち、年少者は護衛として、年長者は前線の兵士として配備された。これは国連安保理決議第1857号（2008）４(d)及び(e)の規定に違反している。

26. パシフィク・ンタウングカ
Pacifique NTAWUNGUKA
（別名）オメガ大佐（Colonel Omega）、ンゼリ（Nzeri）、イスラエル（Israel）、パシフィク・ンタウングラ（Pacifique Ntawungula）
（生年月日・出生地）1964年１月１日、推定1964年、ルワンダ、ギセニ、ガセケ（Gisenyi, Gaseke）
（旅券、人定情報）ルワンダ国籍。ＦＤＬＲ－ＦＯＣＡの北キブ州作戦部門「ソノキ」司令官。2011年６月現在、北キブ州マテンベ（Matembe）を拠点とする。エジプトで軍事訓練受講。
（指定の根拠）ＦＯＣＡ（ＦＤＬＲ（ルワンダ解放民主勢力）の軍事部門）の第一師団司令官。コンゴ民主共和国で活動している外国武装勢力の軍事的指導者として、国連安保理決議第1857号（2008年）４(b)の規定に違反し戦闘員の武装解除、自発的帰還及び再定住を妨害している。国連安保理コンゴ民主共和国制裁委員会専門家グループが照合し2008年２月13日付けの報告書で詳述されている証拠によれば、ＦＤＬＲ－ＦＯＣＡから奪回された少女らは、それまで誘拐され性的暴行を受けていた。2007年半ばから、それまで十代半ばから後半の少年らを徴兵していたＦＤＬＲ－ＦＯＣＡは、10歳以上の少年少女を強制的に徴兵してきた。少年少女らのうち、年少者は護衛として、年長者は前線の兵士として配備された。これは国連安保理決議第1857号（2008年）４(d)及び(e)の規定に違反している。

27. レオポルド・ムジャンベレ
Leopold MUJYAMBERE
（別名）ムセニェリ（Musenyeri）、アシール（Achille）、フレール・ペトルス・イブラヒム（Frere Petrus Ibrahim）
（生年月日・出生地）1962年３月17日（推定1966年）、ルワンダ、キガリ（Kigali）
（旅券、人定情報）ルワンダ国籍。2011年６月現在、ＦＤＬＲ－ＦＯＣＡの「アマゾン」と呼ばれる南キブ州における作戦部門の司令官。南キブ州のムウェンガ（Mwenga）南東部ニャカレケ（Nyakaleke）を拠点とする。
（指定の根拠）ＦＯＣＡ（ＦＤＬＲ（ルワンダ解放民主勢力）の軍事部門）の第二師団・予備隊司令官。コンゴ民主共和国で活動している外国武装勢力の軍事的指導者で、国連安保理決議第1857号（2008年）４(b)の規定に違反し戦闘員の武装解除、自発的帰還及び再定住を妨害している。国連安保理コンゴ民主共和国制裁委員会専門家グループが照合し2008年2月13日付けの報告書で詳述されている証拠によれば、ＦＤＬＲ－ＦＯＣＡから奪回された少女らは、それまで誘拐され性的暴行を受けていた。2007年半ばから、それまで十代半ばから後半の少年らを徴兵していたＦＤＬＲ－ＦＯＣＡは、10歳以上の少年少女を強制的に徴兵してきた。少年少女らのうち、年少者は護衛として、年長者は前線の兵士として配備された。これは国連安保理決議第1857号(2008年)４(d)及び(e)の規定に違反している。

28. ガストン・イヤムレミエ
Gaston IYAMUREMYE
（別名）ルムリ（Rumuli）、ビリンギロ・ビクトール・ルムリ（Byiringiro Victor Rumuli）、ビクトール・ルムリ（Victor Rumuri）、ミシェル・ビリンギロ（Michel Byiringiro）
（生年月日・出生地）1948年、ルワンダ共和国北部県ムサンゼ（Musanze）郡、又はルヘンゲリ（Ruhengeri）
（旅券、人定情報）ルワンダ国籍。ＦＤＬＲ議長兼ＦＤＬＲ－ＦＯＣＡ第二副議長。2011年６月現在、コンゴ民主共和国北キブ州（North Kivu）カロンゲ（Kalonge）を拠点とする。
准将。
（指定の根拠）国連安保理コンゴ民主共和国制裁委員会専門家グループを含む複数の情報源によると、ガストン・イヤムレミエはＦＤＬＲ第二副議長としてＦＤＬＲの軍事的及び政治的指導部の中心人物の一人。ガストン・イヤムレミエはイグナス・ムルワナシ・アカ（ＦＤＬＲ議長）の事務所を2009年12月までコンゴ民主共和国キブアで運営した。

29. フェリシアン・ンサンズブキレ
Félicien NSANZUBUKIRE
（別名）フレッド・イラケザ（Fred Irakeza）
（生年月日・出生地）1967年、ルワンダ共和国ムラマ（Murama）、キニニャ（Kinyinya）、ルブンゴ（Rubungo）、キガリ（Kigali）
（旅券・人定情報）ルワンダ国籍。同人はＦＤＬＲ－ＦＯＣＡの第一大隊長であり、コンゴ民主共和国南キブ州ウビラ・サンゲ（Uvira-Sange）地区を拠点とする。少なくとも1994年からＦＤＬＲの構成員であり、1998年10月以降はコンゴ民主共和国東部で活動している。2011年６月現在、南キブ州ムウェンガ（Mwenga）郡マグンダ地区（Magunda）を拠点とする。
（指定の根拠）、フェリシアン・ンサンズブキレは、少なくとも2008年11月から2009年４月までの間にタンガニカ湖を通じてタンザニア共和国から南キブ州のウビラ（Uvira）及びフィジ（Fizi）地区に拠点を置くＦＤＬＲ部隊への武器弾薬の密輸を監督・調整した。

30. イノサン・ジムリンダ
Innocent ZIMURINDA
（別名）ジムリンダ（Zimulinda）
（生年月日・出生地）1972年９月１日又は1975年、コンゴ民主共和国北キブ州（North Kivu）マシシ（Masisi）郡ングング（Ngungu）
（現在地）コンゴ民主共和国北キブ州（North Kivu）マシシ（Masisi）郡
（旅券・人定情報）コンゴ民主共和国国籍。ＦＡＲＤＣ大佐。2009年に中佐としてＦＡＲＤＣの一員となり、ングング地区を拠点としてＦＡＲＤＣの「キミアⅡ」作戦の旅団指揮官を務める。2009年７月、ジムリンダは大佐に昇任しングングにおけるＦＡＲＤＣの部隊司令官に就任し、「キミアⅡ」及び「アマニ・レオ」作戦ではキチャンガにおける部隊司令官となる。ジムリンダは2010年12月31日の大統領によるＦＡＲＤＣ高官任命時には姿を現していないものの、事実上、キチャンガにおいてＦＡＲＤＣ第22部隊の指揮を継続し、新たに付与されたＦＡＲＤＣの階級と制服を着用している。ボスコ・ンタガンダに忠実な人物。2010年12月、ジムリンダの命令によって兵士が実行した徴兵活動が公開レポートで告発された。